

第5章 戦争・慰霊 ～鎮魂と平和への願い～



1 忠魂碑(西任田町) 平成2年建立

明治40年(1907)に東任田に日露戦没忠魂碑を建立しましたが、昭和10年(1935)に現在地に新設、合祀して吉田村の全戦没者71柱(日露戦役10、上海事変3、日中戦争12、太平洋戦争46)を祀っています。

2 忠魂碑(大浜町) 明治41年建立

根上村長中山庄右衛門が、明治41年(1908)碑文の揮毫を乃木希典に依頼して、浜開発八幡神社の北脇に建立しました。日清・日露戦争の遺族など関係者が参列して、慰霊祭が行われていました。昭和6年(1931)には、浜小学校の校門北前に移されましたが、戦後解体し、現在は加賀舞子に移設されています。



3 顕忠記念碑(寺井町)

碑文が劣化しているため、建立目的や年は不明ですが、揮毫は乃木希典とみられ、日露戦争の戦没者慰霊のために建立されたと考えられます。

4 七生報国碑(寺井町) 昭和18年建立

太平洋戦争の戦勝祈願として建立され、寄進者は岡田忠次郎ほか6名でした。



5 和田山護国寺跡(和田町) 平成25年建立

和田山に忠魂碑が建てられた後、昭和29年(1954)には霊碑の護持を願い、和田山の登り口に寺院が創建されました。同33年(1958)に能美郡遺族会の要請によって、嘉門正順氏(羽咋郡押水町)が初代住職に就きましたが、平成25年(2013)に後継者がなく役目を終えました。



6 和田山忠霊塔(和田町) 昭和25年建立

明治22年(1889)に芦城公園(小松市)に旧能美郡合同(小松市、石川郡一部を含む)の顕忠記念碑が建てられ、毎年追悼法要が催されていましたが、太平洋戦争終結後、公共施設内の忠魂碑の撤去が命じられ、能美郡遺族連合会が昭和25年(1950)に能美平野を一望できる和田山を選び、戦没者1600余名が合祀されました。



7 平和祈念碑(大長野町) 平成28年建立

大長野の戦没者の慰霊を祈念して建てられ、日露戦争から太平洋戦争にかけて36名の名前が刻まれています。

8 平和の塔(小杉町) 平成17年建立

この平和の塔は、日露戦争及び太平洋戦争でひたすら祖国の隆盛と同胞の安全を念じつつ、若くして戦場に散った、小杉町出身の11柱の英霊のために建立されました。



9 忠魂碑(佐野町)

日露戦争の戦没者の慰霊碑です。題字は日露戦争時の陸軍少将・小泉正保の書です。



10 日露戦役記念(湯谷町)



日露戦役記念として建てられた湯谷神社の社碑で、戦役に従軍した10名の名前が刻まれています。

11 忠魂碑(粟生町)

昭和27年建立

昭和15年(1940)に皇紀2600年記念として建立され、大嵐谷(白山市)の石材を使用しています。日清戦争以後の戦没者の名が刻まれ、揮毫は金沢出身の内閣総理大臣林銑十郎によるものです。同21年(1946)に碑文は埋め隠されていましたが、憲法施行記念平和塔として修復されました。



12 忠魂碑(岩本町)

日露戦争で亡くなった2名の戦死者を弔うために建てられた忠魂碑です。子孫たちによって管理され、崩壊を危惧して御影石の石碑に建て替えられました。

13 忠魂碑(大口町)

大口町の墓苑の一角にあります。広さは約30㎡、北陸先端科学技術大学院大学の開学に伴い、平成2年(1990)に現在地に移転しました。

以前は大口~灯台笹の道路脇にあり、「兵隊の墓」として親しまれていました。お年寄から頭を下げて通るよう注意されたことがあります。日露戦争から太平洋戦争までの戦死者7名の慰霊碑です。現在はお盆の8月15日に大口町としてお参りをしています。揮毫は緒方竹虎氏です。



14 平和の礎(いしじ)(宮竹町) 平成3年建立

平成に入り、区長室田正一氏ら16名が発起人となり、日露戦役や太平洋戦争で亡くなった33名の慰霊と永劫平和を祈願することを建設趣旨としました。出身者からも出資を受け、石川県知事中西陽一氏の揮毫を得て、宮竹墓苑に建立しました。





15 日露戦役碑(三ツ口町) 昭和59年建立

碑には三ツ口出身の戦死者6名の氏名・勲位・階級が刻まれ、ほかに輜重輸卒(しちょうゆそつ)として従軍された2名の氏名が記されています。この集落で8名も従軍されたことが分かります。

16 忠魂碑(岩内町) 昭和50年建立

岩内出身の日露戦争以降の戦没者22名の慰霊碑です。日露戦争1名、日中戦争2名以外の19名は太平洋戦争で亡くなった方らしく、うち17名が昭和19年(1944)以後に亡くなっています。戦況のきびしさが伺えます。



17 日露戦役記念碑(来丸町) 明治44年建立

日露戦争を記念として当区の学友会(青年団)が建立したもので、変わったデザインで中に模造弾が入っていました。



18 英霊碑(合同忠魂碑) (辰口町) 昭和63年建立



明治42年(1909)の山上村誕生の記念に、日清・日露戦没者を弔う忠魂碑が辰口小学校南側台地に築られました。辰口町誕生にあたり、太平洋戦争の戦没者も含めて合祀され、昭和38年(1963)に辰口中学校東側台地に竣工されました。その後、市道出口・和気線の新設のため、現在地に移設しました。

19 報公碑(辰口町) 昭和30年建立

太平洋戦争における辰口区出身戦没勇士6柱を弔う奉公碑で、遺族によって建てられました。現在、誓立寺前庭に建立されています。当時の石川県知事田谷充実氏の揮毫です。



20 忠魂碑(徳久町) 昭和7年建立

集落の西端、中山三星建材(株)の東隣に設置されています。旧久常村の末寺・秋常・新保・高座・上下清水・徳久・荒屋・北市の日露戦争の戦没者を祀る合同の忠魂碑です。昭和7年(1932)に建立されています。名簿は法名碑となっています。



21 日露凱旋碑(和気町)

明治39年建立

上和気出身の戦死者3名を祀る碑で、それぞれの階級、戦死地が記されています。



22 砲弾記念

(戦利兵器奉納ノ記)

(西任田町) 明治40年建立

「是レ明治三十七、八年役戦利品ニテ我ガ勇武ナリ軍人ノ……熱血ニテ大戦捷ヲ得タル記念品ナリ……」と刻してあります。



23 砲弾記念(福岡町) 昭和50年建立

「此ノ砲弾ハ明治三十七、八年日露戦ニテ日本海海戦ニ於イテ……主砲露式ヲ下附ニテ……記念ニ八幡神社ニ奉献ス」と刻してあります。

24 戦利兵器奉納の記(福島町)

大正12年建立

日露戦争の日本海海戦でロシア軍艦アドミラルなどに搭載されていた砲弾とされ、海軍省から下付され、日吉神社に奉納されました。



25 日露戦利兵器記念碑(佐野町)

明治40年建立

日露戦争の戦利品の一つとありますが、その品目は明記してありません。碑文は陸軍大臣寺内正毅のものです。



26 砲弾記念(徳久町)

神社境内に、長さ50cm、直径10cmの砲弾2個がコンクリート台座に設置されています。



27 大山巖元帥像(小長野町)

小長野八幡神社に日露戦役の記念碑として、陸軍総司令官大山巖の石像があります。日露戦役に従軍し、無事帰国した人々が共同で建立したものとされ、建立中、大山元帥直筆の礼状が区長宛てに送られています。

